

維新の改革で大阪から日本を変える

なか つか ひろし **中司宏**

日本維新の会
衆議院大阪府第11選挙区支部長
大阪府議会議員

「コロナ」を乗り越え
命・社会・経済を守る!!

コロナ禍で社会全体が深刻な影響を受けている非常時に、ワクチン接種をはじめ「命」、「社会」、「経済」を守る対策が後手に回った今の日本の「決められない政治」に対し、国民の多くが失望しています。

改めて政治の重要性が明らかになった今こそ、日本の未来を見据え、道を誤ることなくポストコロナ社会を切り拓いていかなければなりません。古い慣習を打ち破り、「変わらなかった政治を変える」のが「維新の政治」です。

本号外は、大阪から日本の政治を変えるため、日本維新の会衆議院大阪府第11選挙区(枚方・交野)支部長として活動する中司宏府議を中心に維新の会の取り組みを掲載しています。

中司宏 プロフィール

父母ともに交野市出身。祖母が営んだ交野・私部の助産所で昭和31年3月に生まれる。枚方市立殿二小、三中、府立寝屋川高、早大卒。昭和54年4月産経新聞入社。京都支局を経て、東京本社政治部記者。

昭和62年4月大阪府議会議員に当選。自民党枚方支部長、大阪府連青年局長等を歴任。平成7年4月39歳で枚方市長に当選。マニフェストを導入し12年間市政の発展に努める。大阪府市長会会長、全国青年市長会会長等を歴任。

平成27年4月～大阪府議会議員(現在4期目)。大阪維新の会副政調会長、府議団政調会長、府議会私学振興議員連盟会長、日露友好親善議員連盟会長、新名神高速道路促進議員連盟会長等を歴任。

枚方市グラウンド・ゴルフ連合会、枚方市ラグビー連盟、枚方市ドッジボール協会、富之阪中央商店街振興組合、牧野愛する商店会、津田サイエンスビルズまちづくり協議会、樟葉南校区コミュニティ協議会各顧問、寝屋川高校北水会常任理事

中司宏さんとともに
未来の日本を創ります
あす
日本維新の会 副代表 吉村洋文



ポストコロナ社会を見据え
さらに対策を強化

「維新の会」は、国政において、また府政や地元市政において、それぞれいち早く新型コロナウイルス対策本部等を設置し、提言を重ね、結果に結び付けてきました。

国会議員団では、政府に対しこれまで8回にわたって政策提言を行い、迅速な対応を求めました。

府議団では、国を先取りした対策を進める吉村知事を支え、府民の皆さんの声をお聞きし、提言を重ねてきました。

枚方市、交野市の両市議団では、市独自の支援策やワクチン接種体制の強化などについて、市民の皆さんに寄り添い、身近な声をまとめた要望書を繰り返し提出。枚方市では、プレミアム付き商品券の発行をはじめ、PCR検査の拡充、薬剤師への応援金の支給など、制度の拡充や予算措置につなげました。

コロナ禍における維新の会の取り組み



安心安全で豊かなまちへ、心をつなぐ中司宏の活動



枚方・交野発展の架け橋に
大阪維新の会府議団では、次年度の予算編成に先立ち、毎年、府内各市町と府の担当部局との意見交換会を実施し、要望の橋渡しを行っています。
枚方市(写真上)は岡沢龍一府議と、交野市(写真下)ではみよしおる府議とともに出席し、両市が抱える課題解決と事業の推進への問題点を整理し、実現に向けて働きかけました。



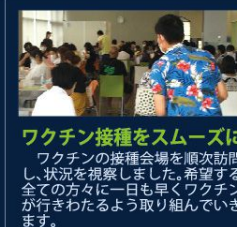
交野の消防・救急体制強化へ
コロナで救急需要が増す中、交野の消防力強化につながる枚方復原川消防組合との協働について府議会で再三にわたり提言。今後も安心安全確保のため力を注ぎます。



子ども食堂の運営を応援!
子ども食堂を運営されている皆さんの集いに参加し、コロナ禍での活動や行政の支援についてお聞きしました。課題解決に向けて取り組みます。



新名神とアクセス道路整備で適切な対策を
新名神高槻インターへのアクセスとなる新築橋(牧野高槻線)の整備促進と、枚方から国道1号へ抜ける府道枚方高槻線の交通対策としてお話し。交野市の整備を要望。新名神・トランスルジャンプの船橋地域の騒音対策、入籍インターへの府道内里高野道線整備についても、府とNEXCO西日本が適切な対策を約束しました。



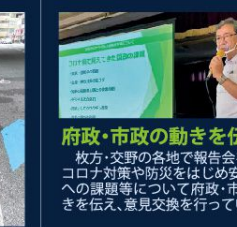
ワクチン接種をスムーズに
ワクチンの接種会場を順次訪問し、状況を視察しました。希望する全ての方々に一日も早くワクチンが行きわたるよう取り組んでいきます。



星田北整備の課題解決へ協議
第二京阪の沿道整備の一環で土地区画整理が進む交野・星田駅北、星田北地区をみよし府議、交野市議団と視察。交通問題など課題を解決していきます。



街頭活動でまちの声を聞く
街頭活動は、まちの声を聞き取る貴重なコミュニケーションの場。いろんな出会いがあって励みにもなります。お気軽にお声がけ下さい。



府政・市政の動きを伝える
枚方・交野の各地で報告会を開催。コロナ対策や防災をはじめ安心安全への課題等について府政・市政の動きを伝え、意見交換を行っています。



地方の声を国政に ふるさと枚方・交野が政治の原点



日本維新の会衆議院大阪府第1選挙区支部長
大阪府議会議員
中司宏
なかつひろし

1 大阪のコロナ対策で重視してきたこと

リーダーは決断力 メッセージを伝えることが重要



中司 本日はお忙しい中、ありがとうございます。コロナ対策で不眠不休の吉村

村知事を気遣って、「一時は「#吉村褒めろ」などの声がネット上で飛び交っていましたが、体調はいかがですか。

吉村、ありがとうございます。身体はきついですが大丈夫です。皆さんからの励ましの声が力になっていきます。

中司 さて、新型コロナウイルスの感染拡大から1年半余り経ちますが、知事は感染拡大防止と社会・経済活動とのバランスを取りながら全国に先駆けた対策を進めてこられましたか、どのような思いでしたか。

吉村 感染対策に万全を期すことはもちろんのこと、府民の命・暮らしを守っていかねければなりません。深刻な影響を受けた方々へのセーフティネットをはじめ、経済を

支え雇用を守る取り組みにも力を注いできました。

数値で情報をオープンに

中司 市長を経験したからわかりますが、何がベストか判断しにくいことでも最後は首長が決断しなければなりません。そのためには、様々な意見を聞き、数値で明確な基準を示し、リーダーとしての考えを力強く発信することが大事だと思います。

吉村 私こそは意識しています。府民の皆さんに府の対策を理解していただくために、は、知事としてのメッセージをしっかりと伝えることが重要であり、数値をはじめ多くの情報をできるだけオープンにしていきたいと考えています。

2 コロナ禍で見えてきた国政の課題

地方への権限委譲と自治体のデジタル化が急務



握している都道府県に宣言の権限を移すなど、知事の裁量権を強化していくべきです。

中司 「地方のことは地方が決める、地方分権改革が進めば、地域の実情に合った対策ができます。定額給付金の支給やワクチンの予約でも自治体の現場が混乱しましたが、地方の裁量でデジタル化等を促進することで、もっとスムーズな対応が可能になるでしょうね。

吉村 府では昨年「スマートシティ戦略部」を発足しましたが、さらに民間が連携してデジタル化を推進するため「大阪版デジタル庁」を創設します。大阪・関西万博をきっかけに、スマートシティ化を加速するためにも大胆な改革が必要ですよ。

大阪府の主な新型コロナウイルス対策

- 自粛要請等についての警戒基準 (大阪モデル)の策定
- コロナ追跡システム導入
- 療養体制の確保 (令和2年4月→令和3年9月)

重症病床	127床 → 589床
軽症中等症病床 (ホテル)療養室等	656床 → 2,669床
	712床 → 6,131床
- 医療従事者等への支援
1人あたりQUOカード10~20万円
- 個人への貸付などセーフティネットの強化
- 府立高校のオンライン授業
- 中小企業休業外要請支援金
- 新型コロナウイルス助け合い基金の創設
- 宿泊療養施設及び外来診療での「抗体カクテル療法」の実施
- インテックス大阪に1000床規模の「大規模治療センター」を開設

3 大阪の業績を国政改革に活かす

「身を切る改革」でムダをなくし大阪の成長とサービス向上を実現

中司 このコロナ禍で、東京一極集中のリスクが改めて問われています。日本の成長を東西二極でけん引するためにも、大阪を契機に「副首都」大阪の存在感を世界にアピールできるチャンスです。

大阪を「副首都」に

吉村 ポストコロナ社会を見据え、集積が進む健康医療関連産業を生かしたイノベーションの促進や、先物取引発祥地の強みを活かした国際金融都市の実現に力を入れ、大阪の成長を加速させて「副首都・大阪」を確立していきます。

日本維新の会

- ① 社会システム自体を大改革
- ② 幅広い国民に寄り添った政策
- ③ 既得権益や旧体制の利権構造を打破
- ④ 地方分権型、多極分散型の統治機構

維新と自民の対立軸

自民党

- ① 社会システムは現状維持で微修正
- ② 特定の支持母体に目が向いた政策
- ③ 既得権益層への改革には消極的
- ④ 中央集権型の統治機構

4 中司さんに期待すること

市長や府議の経験は大きな力 地方の視点で国政に風穴を

吉村 中司さんは市長として全国に先駆けてマニフェストによる市政運営を行い、破たん寸前だった枚方市の財政を立て直す一方で、遅れていたインフラ整備や住民サービスの向上に手腕を発揮されました。まさに維新の改革の先取りで、府議です。また、府議団政調会長として府政運営に提言をいただくなど、頼りになる先輩でもあります。長年地方政治を経験してこられたからこそ、地方の視点で改革ができる、と信じています。ぜひ国政にも風穴を開けて

ください。

中司 ありがとうございます。ふるさと枚方・交野で生まれ育ち、地元で市長や府議として地域住民の皆さんと一緒に課題解決に向けて汗を流してきた経験が、地方の声を国に届ける上で大きな力になると思っています。これからも、皆さんの声をお聞きし、ポストコロナ社会を切り拓くため全力投球します。

変わらない政治を変える

吉村 維新の会では、経済成長と格差解消を実現するためのマニフェストとして「日本大改革プラン」を公表しました。困難な中で新しい日本を創るには、今がラストチャンスです。

中司 今こそ、変わらなかつた政治を変えていくため、力を合わせて頑張ります。本日はありがとうございます。

経済成長と格差解消を実現するため

「日本大改革」を！



日本維新の会副代表
吉村 洋文
よしむらひろふみ